

専門分野・看護の統合と実践 授業計画

授業科目及び時間数	災害看護 1 単位 30 時間	
開講時期	2 年次 前期	
担当教員	川井和枝・萱場健雄・白鳥智美・山田美季・細谷真貴子	
<p><科目のねらい></p> <p>震災、風水害等が多くみられる今日、資源や人材が潤沢にある平常時と異なる医療環境を学び、臨機応変対応できる柔軟性や、極限状態に追い込まれている対象との援助的な人間関係を築く能力を修得し、緊急時に対応できる技術や、災害の及ぼす生命や健康生活への被害を極力少なくする活動を通して災害時における看護の役割が考えられることが求められている。</p> <p><到達目標></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 災害に対する基礎的知識及び災害時の問題を知り、災害救護合宿を通して被災者の抱える身体・心理・社会的な問題、看護の果たす役割について考えることができる。 2. 災害時に必要な技術を修得することができる。 		
授業計画・内容・担当教員		
1 回目	1. 災害医療の基礎 1) 歴史 2) 種類 3) サイクル	講義 (川井)
2 回目	1. 災害各期の特徴 2. 災害に対する備え	講義 (川井)
3 回目	1. トリアージの原則 2. トリアージの実際	講義 (川井)
4 回目	トリアージタックについて	講義 (川井)
5 回目	1. 亜急性期～中長期の看護 2. こころのケア	講義 (川井)
6 回目	心のケア 事例検討	講義・グループワーク (川井)
7 回目	1. START 法について 2. トリアージ演習	講義・演習 (川井)
8 回目	三角巾の取り扱い	講義・演習 (川井)
9 回目	避難所運営ゲーム	講義・演習 (川井)
10 回目	災害訓練	訓練 (萱場・白鳥・山田・細谷)
11 回目	災害訓練	訓練 (萱場・白鳥・山田・細谷)
12 回目	災害訓練	訓練 (萱場・白鳥・山田・細谷)
13 回目	災害訓練	訓練 (萱場・白鳥・山田・細谷)
14 回目	災害訓練のまとめ	訓練 (萱場・白鳥・山田・細谷)
15 回目	終了試験	(萱場)
評価方法	筆記試験 (100%)	
受講生に対するメッセージ	健康に留意し積極的に参加してほしい。	
テキスト	系統 災害看護学・国際看護学 看護の統合と実践③ 医学書院	
参考書		